

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋です。宮一のみなさんも新人大会や各種発表会等、それぞれの活動の場で力を発揮しているのではないのでしょうか。校内では10月27日に3年次の第二回校内模試が、同日放課後から翌28日には2年次の進研模試(5教科)が、28日に1年次の進研模試がそれぞれ実施されます。模試は受けた後が大事です。受けっぱなしが一番損をします。力をつける手段として、模試を有効活用してください。

CCI (コスモス・カレッジ・インターンシップ)・・・学ぶ意義を考える

9月29日(金)に1・2年次生を対象としたCCI(コスモス・カレッジ・インターンシップ)の感想文を、前回に続いて以下の6講座について紹介します。

No.	学問系統	講師(敬称略)	所属等	講義タイトル
7	教員養成・教育学	大西 孝志	東北福祉大学教育学部教育学科教授	「共に生きる」
8	国際教養学	新垣 修	国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科教授	「エレノア・ルーズベルト：平和、人権、そしてICU」
9	医学	小笠原 康悦	東北大学加齢医学研究所教授	「医療に役立つ研究開発 ―金属アレルギー研究の最前線―」
10	看護学	藤田 愛	山形大学医学部看護学科准教授	「お産に大事な基本のき。～分娩の三要素～」
11	医療技術学	石井 恵子	東北大学大学院医学系研究科准教授	「感染症とワクチン」
12	薬学・化学	八百板 康範	東北医科薬科大学薬学部准教授	「分子のかたち ―生体分子と医薬品の構造について―」

7 教員養成・教育学 今回の講座を通して、今まで関心の少なかった障害をもった子どもの教育について深く知ることができました。障害をもっていない子どもでも、実際に鶴を折ってみると個人差があったように、よくよく考えてみると障害者と健常者にボーダーラインはなく、あるのは個人差だけなのだと思いました。また、その個人差も人それぞれの個人としての魅力なのではないかと考えました。ヘレン=ケラーを例にとってみると、奇跡を起こしたのはヘレン=ケラーではなく、先生であり、私もその先生のような指導がしてみたくくなりました。(中略)まだまだ私の考えも将来のことも漠然とはしていますが、今回の講座で何か少し変わった気がしました。そして、教育といっても様々な教育が他にもたくさんあると思うので、大学を決めなければいけない時期になる前に、様々な大学の内容を調べていきたいなと思いました。今回の講座はとても内容が濃く、有意義に学ぶことができました。(1年次理数科)

8 国際教養学 世界人権宣言については、法的影響力もなく形式的に作られたものだと思っていました。しかし、その起草者の一人であるエレノア・ルーズベルトについて知り、人権についての問題は身近なことで、他人事ではないと改めて感じました。人権と平和は直接関係しているもので、平和を実現するためには人権を保障しなければならないのだと知りました。戦争や紛争の中にいる人々に平和について心を開き、人権が保障されることを信じてもらわなければならないということが

3 法学 (前略) 私は将来、法曹になりたいと思っていて、社会に関心を持つことがいかに重要であるかを学ぶことができました。一つの事象に対して、その事実だけを捉えるのではなく、「なぜ、どうして？」と問答し、深く考えることでその核心に少しでも近づくことができると思うので、いくつかの新聞を手にとって、多方面から社会問題を見つめることを、明日から実践してみようと思います。また、付和雷同せず、自分の考えに自信を持つことも、法学においては大切なことだと思ったので、常に自分の考えを持つということを念頭に、様々なことに取り組んでいきたいと思っています。(2年次普通科)

5 心理学 心理学は心の働きが人にもどのような影響を与えるのかということを考える学問だと思っていましたが、心の働きそのものについて考える心理学もあるということがわかりました。心理学が予想よりはるかに多くの物事と関係しているということも理解することができました。(中略) 脳の障害も医学や薬学といったものが専門だと思っていましたが、メカニズムについては心理学で学べるが多そうだったので、来年の大学のオープンキャンパスでは心理学関連の学科を見に行こうと思います。(後略) (1年次普通科)

4 経済・経営 (前略) 私は今回扱っていた「学歴によって生じる所得格差」というテーマについてとても面白いと感じました。そのため、もっと深く掘り下げて、「中・高の生活態度と将来の所得」についても研究してみたいと思いました。現代の社会には「ブラック企業」と呼ばれる会社もありますが、今回の講義から「ブラック企業」の経営者には倫理や道徳の欠如が感じられると思いました。やはり、どれほど地位が高く、成功していても、そのような会社を作ってしまうことは社会的に大きな損失であり、経済学の根本的な内容が活かしていないのだと思います。今日学んだ内容から、社会で起こっている物事一つ一つに対し、様々な視点から考えて、経済学的な考え方をしてみることも面白いことだと思いました。(1年次普通科)



6 文化学・歴史学 (前略) 華やかそうに見えていたジブリの世界は、裏側を見てみるとむしろ闇が深いなと感じた。『千と千尋』は特に。「トンネル」の登場理由にも納得した。今の世界と他の世界をつなぐものという解釈に感動した。圧倒された。ジブリは奥深いものであるとは思っていたが、ここまで宗教的なことが絡んでいることに驚いた。楽しむという視点だけではなく、頭を使って物語の背景を考えてみるとまた違った見え方がすることがよくわかったので、さっそく、今日、家に帰ったら見ます。世界史の復習にもなると思いました。(2年次普通科)